

3面の情報をもとにExcelを用いた最小手での解法の
探索 (研究の成果発表)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-05-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 鈴木, 透生, 大野, 幹人, 工藤, 成惣, 尾藤, 隆彦 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/00027447

3面の情報をもとに Excel を用いた最小手での解法の探索

鈴木透生(静岡県立浜松南高校), 大野幹人(静岡県立浜松南高校), 工藤成惣(静岡県立浜松南高校), 尾藤隆彦(静岡県立浜松南高校)

ルービックキューブ 2×2 は8個のキューブから成り立つ立方体である。その性質から、3つの回転動作によって色の全通りを表すことができる。これにより、ルービックキューブの状態を文字で表すことが可能になった。ルービックキューブの初期状態からの操作回数によって表したことにより、その状態へと到る回転動作がわかった。これを逆にを行うことで、特定の状態から初期状態へと戻すことができるようになった。Excel 上でこれらの動作を行った。